

2026年10月入学  
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科  
(博士後期課程)  
O-NECUS プログラム修了者  
外国人留学生特別入試 学生募集要項

出願期間	2026年 5月29日(金)～6月8日(月)
合格者発表	2026年 6月26日(金) 午前10時
入学手続期間	2026年 9月17日(木) 及び 9月18日(金)

出願書類提出・問い合わせ先

岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当 (工学部1号館1階)  
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1  
TEL 086 (251) 7771  
E-mail [hs7771@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:hs7771@adm.okayama-u.ac.jp)

# 大学院課程教育における方針

(アドミッション・ポリシー, カリキュラム・ポリシー, ディグリー・ポリシー)

ヘルスシステム統合科学研究科ホームページの下記URLを参考にしてください。

アドミッション・ポリシー

[https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/policy/admission\\_policy/](https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/policy/admission_policy/)

カリキュラム・ポリシー

[https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/education/curriculum/curriculum\\_policy/](https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/education/curriculum/curriculum_policy/)

ディグリー・ポリシー

[https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/education/curriculum/degree\\_policy/](https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/education/curriculum/degree_policy/)

## 0-NECUS プログラム 修了者 外国人留学生 特別入試の趣旨

0-NECUS プログラム（岡山大学－中国東北部大学院留学生交流プログラム）修了者を対象として、岡山大学の大学院に優れた人材を受け入れて育成することにより、本学大学院学位の国際的通用性を高めることを目的とする制度（博士課程学位取得制度）に基づき、学生募集を行います。

なお、この学生募集の入学検定料、入学時の入学料及び入学後の本学在学中の授業料についてすべて無料とします。

## 0-NECUS プログラム（岡山大学－中国東北部大学院留学生交流プログラム）について

- 1 0-NECUS プログラムは、岡山大学の大学院と中国各大学（中華人民共和国の東北部に所在する大学）の大学院とが共同して国際水準の教育を提供し、優れた人材を育成することにより、大学院学位の国際的通用性を高めることを目的とします。
- 2 0-NECUS プログラムの双方向学位制度は、中国各大学から岡山大学に派遣される学生及び岡山大学から中国各大学に派遣する学生が、派遣元大学の大学院に在学したまま派遣先大学の大学院の正規の課程に入学し、派遣元大学と派遣先大学の双方の修士課程を修了することにより、派遣先大学と派遣元大学において、それぞれ修士の学位を取得する制度です。
- 3 0-NECUS プログラムの短期留学制度は、岡山大学と中国各大学が、大学院生を相互に短期間派遣し、派遣先大学の大学院において修得した単位を相互に認定する制度です。

## 1. 募集人員

2026年10月入学

専攻	募集人員
ヘルスシステム統合科学専攻	若干人

## 2. 出願資格

(入学時期：2026年10月)

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者又は2026年9月までに該当する見込みの者

- (1) 0-NECUS プログラムの双方向学位制度の修了者
- (2) 0-NECUS プログラムの短期留学制度の経験を有し、中国の0-NECUS 参画大学の修士課程を修了した者

(注1) 大学院入学後に、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる見込みの者。

(注2) 修了見込みで出願した者で、2026年9月までに修了できない者は入学を取り消します。

## 3. 出願手続

### (1) 出願方法

入学志願者は、以下の手続きをすべて行ってください。

- ① 出願書類作成の前に、本研究科での指導予定教員とメール等により直接連絡を取り、入学後の研究・教育について相談し、受験の承諾を得て、「志望指導教員受入内諾書」の写しを受領してください。研究科の指導予定教員は以下の URL を参照ください。

ヘルスシステム統合科学研究科：<https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/staff/>

- ② 出願書類等のすべてを、「(2) 出願期間」内に必着するよう郵送してください。

### (2) 出願期間

2026年10月入学	2026年 5月 29日 (金)
	2026年 6月 8日 (月)

### (3) 出願書類提出先

表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」へ提出してください。

### (4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるものは受理しません。

- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、入学願書の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

**(5) 出願に必要な書類等**

出願に必要な書類等	摘 要
①入学願書・履歴書・写真	本研究科所定の様式を使用してください。 縦4 cm×横3 cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真を、「入学願書」の所定欄に貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に国籍及び氏名を記入してください。
②出身大学の卒業証明書及び成績証明書	出身大学が作成したものを提出してください。
③出身大学院の修了(見込み)証明書及び成績証明書	出身大学院が作成したものを提出してください。
④提出論文等	修士論文又はそれに代わる研究論文(英語又は日本語)の写しを提出してください。
⑤論文要旨(2,000字程度)	本研究科所定の様式を使用してください。
⑥研究計画書	本研究科所定の様式を使用してください。
⑦語学能力試験の成績証明書	《バイオ・創薬部門、医療機器医用材料部門》 IELTS、TOEFL iBT <sup>®</sup> 、TOEIC <sup>®</sup> の成績証明書 これらが無い場合は、最終出身大学院等による英語能力証明書  《ヘルスケアサイエンス部門》 IELTS、TOEFL iBT <sup>®</sup> 、TOEIC <sup>®</sup> の成績証明書又は日本語能力試験の合格通知書のいずれか1つ  《ヒューマンケアイノベーション部門》 日本語能力試験N1の合格通知書又はTOEFL iBT <sup>®</sup> 100点以上若しくはIELTS 7.0以上の成績証明書を提出すること。どちらの書類が必要かについては、志望する教育研究分野の教員に連絡し、指示を受けること。
⑧在留カードのコピー等	現に日本国に在住する志願者のみ  在留カードの両面コピー又は市区町村長の交付する住民票(写)の原本(国籍・在留資格・在留期間が明示されたもの)を提出してください。 ※通称がある方は「市区町村長の交付する住民票(写)の原本」を提出してください。

出願に必要な書類等	摘 要
⑨パスポートの写し又は 市民籍の証明書・戸籍謄本	パスポートの名前、生年月日等が確認できるページの写しを提出してください。 パスポートを所持していない場合、本国において取得した戸籍謄本又は市民籍等の証明書を提出してください。
⑩協定校の学長又は研究科長の 推薦書	本研究科所定の様式を使用し、最終出身大学（修了見込みの者については在籍中の大学）の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。
⑪志望指導教員受入内諾書	本研究科所定の様式を使用して、本研究科での志望指導教員が作成したものの写しを提出してください。 ※受入れ内諾書の作成に際して面談を行う場合があります。

(注1) 提出書類は、すべて規格を統一（A4判が望ましい）し、タイプを用いてください。

(注2) 提出書類が完全に揃っていない場合、完全かつ正確に記載されていない場合、又は提出期限が過ぎたものについては、受理しません。

(注3) 提出書類①～⑥、⑩は原本の提出が必要です（ただし、③、④は発行元により原本証明を受けたものでも可）。

(注4) 上記の書類は、⑪を除き、原則として日本語又は英語で作成してください。（英語以外の母国語の場合は、英訳を添付してください。）

#### 4. 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、出願書類等により書類審査を行い、合否を決定します。

#### 5. 合格者発表

入 学 者 選 抜 試 験	日 時
2026年10月入学者選抜試験	2026年 6月 26日（金）

① 合格者には、上記合格者発表日付で、合格通知書等を、本人あてに送付します。

② 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

#### 6. 入学手続

##### (1) 入学手続方法

合格者は、入学手続を完了することにより、入学が許可されることとなります。  
詳細は合格通知とともに、別途連絡します。

##### (2) 入学手続期間

入学時期	入学手続期間
2026年10月入学者	2026年 9月 17日（木）及び2026年 9月 18日（金）

## 7. その他

### (1) 検定料、入学料及び授業料

検定料、入学料及び授業料は、徴収しません。ただし、授業料は標準修業年数を超過することが確定した日が属する期の翌月以降の授業料は、徴収するものとします。

### (2) 留学生宿舎

岡山大学には留学生のための宿舎として、桑の木留学生宿舎、福居留学生宿舎、国際交流会館、国際学生シェアハウスがあり、いずれも、津島キャンパスから徒歩圏内にあります。

#### 【宿舎等に関する問い合わせ先】

〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

岡山大学学務部国際教育推進課 <https://intl.okayama-u.ac.jp/en/support/>

宿舎に関すること： [housing@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:housing@cc.okayama-u.ac.jp)

### (3) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については入学願書に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務情報システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

### (4) 安全保障輸出管理制度

岡山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「岡山大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

「外国為替及び外国貿易法」等により規制されている事項に該当する場合は、入学を許可しない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があります。

参考（経済産業省ホームページ） URL；<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

### (5) 本募集に関する問い合わせについて

担当係 岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

電話 086(251)7771

問い合わせ先 E-mail [hs7771@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:hs7771@adm.okayama-u.ac.jp)

ヘルスシステム統合科学研究科 URL；<http://www.gisehs.okayama-u.ac.jp>

## 8. ヘルスシステム統合科学研究科専攻案内

専攻	講座	部門	教育研究分野
ヘルスシステム 統合科学専攻	ヘルスシステム 統合科学講座	バイオ・創薬	生体機能分子設計学
			1分子生物化学
			細胞機能設計学
			無機バイオ材料工学
			生体分子工学
			オルガネラシステム工学
			蛋白質医用工学
			分子細胞工学
		医療機器医用材料	人間情報処理学
			医用情報ネットワーク学
			先端医用電子工学
			インタフェースシステム学
			認知神経科学
		ヘルスケア サイエンス	ヘルスシステムマネジメント学
			看護科学
			生体情報科学
			放射線健康支援科学
			未病科学
			医療技術臨床応用学
		ヒューマンケア イノベーション	日本文化論
			宗教人間文化論
			医事法学
			科学史技術論
			臨床死生学
ソーシャルイノベーション論			

参考に、本研究科教職員一覧をご覧ください。<https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/staff/>

注① 志望指導教員へ連絡される場合は、本研究科教職員一覧記載の連絡先または以下の代表電話へお掛けください。

＜岡山市津島キャンパス＞ 代表電話 086(252)1111

＜岡山市鹿田キャンパス＞ 代表電話 086(223)7151

注② 次ページ以降に掲載のある教員は、授業のみ担当し研究指導を行わない場合もありますので、予め志望指導教員に連絡し、確認してください。

注③ 本専攻案内は、学生募集要項作成時点での予定のため、変更になることがあります

ヘルスシステム統合科学専攻 ヘルスシステム統合科学講座

部門名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	所属教員
バイオ・創薬	生体機能分子設計学	核酸結合タンパク質や酵素を始めとした、生体機能制御分子の機能解析及び得られた知見に基づいて設計した人工生体機能分子の医療・農業への応用を目指した異分野融合研究	☆世良 貴史 教授 森 友明 講師 森 光一 助教
	1分子生物化学	タンパク質の機能解析及びその分子機構の解明，医療・環境科学への応用	平野美奈子 准教授 早川 徹 助教
	細胞機能設計学	細胞内シグナル伝達研究と創薬科学への応用	☆徳光 浩 教授 曲 正樹 助教 △大塚 里美 助教
	無機バイオ材料工学	無機材質を基本とした構造が精密に制御された医用材料の設計と応用に関する研究	早川 聡 教授 吉岡 朋彦 准教授 片岡 卓也 助教
	生体分子工学	新規生体機能分子の設計に立脚し，主としてRNAの働きに着眼した生命工学・生命科学的研究	大槻 高史 教授 渡邊 和則 准教授 △高原 茉莉 助教
	オルガネラシステム工学	細胞内オルガネラ形成や物質輸送制御の機序解明とその応用に関する研究	佐藤 あやの 教授
	蛋白質医用工学	蛋白質の効率的な生産・解析法の開発と医用工学分野への応用に関する研究	二見 淳一郎 教授 森井 真理子 助教 △宮本 愛 助教
	分子細胞工学	免疫細胞機能の分子レベルでの解明とその応用技術の開発	金山 直樹 准教授
医療機器 医用材料	人間情報処理学	信号処理，確率統計理論，機械学習等に基づいて人間の視聴覚情報処理や行動を分析，モデル化すると共に，それらをサービスに応用する研究	小川 厚徳 教授 相田 敏明 講師
	医用情報ネットワーク学	コンピュータネットワークや通信プロトコルの性能解析・評価法及び高信頼化・高機能化法とそれらの医用への応用	△三浦 秀芳 助教
	先端医用電子工学	バイオ・メディカル分野で重要なセンサデバイスをを用いた各種計測技術，システム化及び信号処理設計に関する研究	紀和 利彦 教授 王 璿 准教授 △嶺 颯太 助教
	インタフェースシステム学	人間と協調したり人間の活動を支援するヒューマンコンピュータインタラクション技術，メディア認識・処理技術，ロボット技術とそれらの医療・介護システムへの応用に関する教育研究	中澤 篤志 教授 中谷 真太郎 准教授
	認知神経科学	認知心理学とニューロンイメージング手法を用いたヒトの認知神経機能の解明及び医療福祉への応用に関する教育研究	楊 家家 教授 高橋 智 准教授 △横山 寛 助教

注1) △印の教員は、指導教員として志望できません。

注2) ☆印の教員を志望する場合は、事前に表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」に問い合わせてください。

部門名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	所属教員
ヘルスケアサイエンス	ヘルスシステムマネジメント学	医療の臨床実践や新規治療法開発において、有限の人材、資源、資金を有効に利用し配分しながら、組織を構築し、戦略を立て、人材を動機づけていくための理論構築に関する研究	渡邊 豊彦 教授*
	看護科学	災害・健康危機・人道危機時の保健・医療・公衆衛生・福祉の戦略的対応を可能にするマイクロからマクロまでの組織構築に関する研究、および支援者支援に関する研究	原田奈穂子 教授*
	生体情報科学	生体情報を正しく計測・処理する技術およびその解析・評価法、さらに得られた情報、データベース等に基づいた社会での活用に関する教育研究	森田 瑞樹 教授*
	放射線健康支援科学	医療分野における放射線の物理計測・評価技術の開発応用や生体への治療効果・副作用など予測シミュレーションに関する研究	笈田 将皇 准教授*
	未病科学	医療・健康データを用いた未病の分析と、行動変容を促す個別化されたヘルスケアシステムの構築に関する研究	△横山 慎太郎 助教*
	医療技術臨床応用学	ナノテクノロジーを用いた医薬品などを、実際の疾患治療に活用する際の、疾患知見を踏まえ血管や繊維組織を中心とした生物学的な反応解析研究、または、医療データによる疫学的な解析研究	狩野 光伸 教授
ヒューマンケアイノベーション	日本文化論	日本思想史研究の方法・視点をベースとした医療・介護の現場に根ざす老い・看取り・死をめぐる研究	本村 昌文 教授
	宗教人間文化論	人間の生と死や身体と魂（精神）の関係についての思想史的・宗教学的研究	袴田 玲 准教授
	医事法学	医療現場に生起する法的諸課題を医療行為と医療制度の両面から把握・分析したうえで、解決策を提示し得る人材の養成を志向する教育研究	宍戸 圭介 教授
	科学史技術論	ケアにかかわる科学技術の発展と高齢化諸問題との関連やあり方に関する研究	☆吉葉 恭行 教授
	臨床死生学	医療・ケア現場における死生に関する課題と、問題解決のための理論・具体的方法のあり方の臨床死生学的な研究	日笠 晴香 准教授
	ソーシャルイノベーション論	医療・ケア現場における多様な課題に対する技術革新および社会イノベーションの開発・適用に関する教育研究	藤井 大児 教授

注1) △印の教員は、指導教員として志望できません。

注2) ☆印の教員を志望する場合は、事前に表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」に問い合わせてください。

注3) \*印は、鹿田キャンパスの教員です。